

正 誤 表

平成22年 6 月15日

(備考欄)

- ※ 第2刷以降では訂正されております。
- 第3刷以降では訂正されております。
- 無印については、全ての図書が対象となります。

ご購入いただきました図書に下記の誤りがありました。お詫びすると共に、お手数ですがご訂正下さいますようお願い申し上げます。

管工事施工管理技術テキスト 改訂第6版 技術編 I

頁	訂正箇所	誤	正	備考
7	上から9行目	地表における直達日射と天空放射は、	地表における直達日射と天空日射は、	●
60	上から11, 13行目	エンタルピー	比エンタルピー	●
89	上から9行目	騒音レベル(Noise level)	騒音レベル(Sound level)	●
	上から14~15行目	JISには、普通騒音計 (JIS C 1502) と精密騒音計 (JIS C 1505)があり、普通騒音計を図6.2-1に示す。騒音計の内部には、聴覚に近似した特性をもたせるための周波数補正回路があり、	騒音計の性能は、JIS C 1509-1に規定され、クラス2は従来の普通騒音計に、クラス1は従来の精密騒音計に相当し、普通騒音計を図6.2-1に示す。騒音計の内部には、聴覚に近似した特性をもたせるための周波数重み付け特性があり、	●
	下から4~3行目	…周波数補正回路の周波数レスポンスを図6.2-2に示す。	…周波数重み付け特性を図6.2-2に示す。	●
	図6.2-2のタイトル	周波数基準レスポンス	周波数重み付け特性	●
	下から2~1行目	A特性を用いた測定値dB(A)が騒音レベルであり、軽量法ではホンとも呼んでいる。C特性を用いた測定値dB(C)は平坦特性を用いた音圧レベルの近似値とみなしてよい。	A特性を用いた測定値dB(A)が騒音レベルである。C特性を用いた測定値dB(C)は周波数重み付けをしない音圧レベルの近似値とみなしてよい。	●
115	上から17行目	…銅と鋼または鋼とステンレスなど…	…銅と鋼または鋼とステンレスなど…	●
142	下から13~12行目	「また、③-⑤の……装置露点温度をいう。」を削除		※
160	下から7~9行目	…および告示として建築物に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断の基準が定められている。すべての建築主は建築物に係る…また、建築主および特定建築物(延床面積2,000㎡以上)の所有者は…	…および告示として建築物に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断の基準が定められている。(住宅については別の判断基準が定められている。)すべての建築主は建築物に係る…また、建築主および特定建築物(延床面積300㎡以上)の所有者は…	
165	上から6行目の後に追加	延べ面積5,000㎡以下の建築物の建築主の判断基準として、性能基準と仕様基準とを選択できる。	延べ面積5,000㎡以下の建築物の建築主の判断基準として、性能基準と仕様基準とを選択できる。(平成21年4月から仕様基準に簡易なポイント法が追加され、2,000㎡未満の建築物で選択できることとなった。)	
319	上から16行目	…における排水管の位置…	…における配水管の位置…	※
324	下から7~5行目	…SHASE-S211では負圧破壊性能の2倍(最大値150mm)以上と規定している。負圧破壊性能とは、SHASE-S211に記述されている…	…SHASE-S211, 215では負圧破壊性能の2倍(配管接続形では150mm)以上と規定している。負圧破壊性能とは、SHASE-S211, 215に記述されている…	※
329	上から1行目	ある。図3.2-4にその概要を示す。	ある。	●
	上から13~14行目	…図3.2-5にその概要を示す。	…図3.2-4にその概要を示す。	●
372	上から11行目	…各個通気を取った方がよい。…	…通気を取った方がよい。…	※
374	上から12行目	…大気に開放しなければならない。	…大気に開放する。	※
394	下から3行目~5行目	…スプリンクラー設備にあつては、スプリンクラーヘッドの開放による流水検知装置もしくは起動用水圧開閉装置の作動または補助散水栓の開閉弁の開放と連動して加圧送水装置を…	…スプリンクラー設備にあつては、自動火災報知設備の感知器の作動又は流水検知装置若しくは起動用水圧開閉装置の作動と連動して加圧送水装置を…	
399	下から9~7行目	1) 散水ヘッドには、スプリンクラーヘッドの場合と同様に開放型のもので閉鎖型のものであるが、1の散水ヘッドまでの水平距離が、開放型のものにあつては、天井または天井裏の各部分から3.7 m以下となるように、閉鎖型のものにあつては、…	1) 散水ヘッドには、開放型散水ヘッド、閉鎖型散水ヘッドおよび閉鎖型スプリンクラーヘッドがある。1の散水ヘッドまでの水平距離が、開放型散水ヘッドおよび閉鎖型散水ヘッドにあつては、天井または天井裏の各部分から3.7 m以下となるように、閉鎖型スプリンクラーヘッドにあつては、…	※
	下から5行目	…散水ヘッドから送水するが…	…散水ヘッドから放水するが…	※
	下から4~3行目	…開放型のものにあつては10以下、閉鎖型のものにあつては20以下となるように設ける。	…開放型散水ヘッドおよび閉鎖型散水ヘッドにあつては10以下、閉鎖型スプリンクラーヘッドにあつては20以下となるように設ける。	※
	下から2行目	3) 散水ヘッドから放水される…	3) 開放型散水ヘッドから放水される…	※
425	図7.4-3のタイトル	図7.4-3 外壁式(BF-W式)の設置例	図7.4-3 外壁式(BF-W式, BF-DP式)の設置例	※
	上から19行目	1) 自然給排気式: 外壁式 (BF-W式) (図7.4-3) は…	1) 自然給排気式: 外壁式 (BF-W式, BF-DP式) (図7.4-3) は…	※
426	下から14行目	1) 排気筒は、ドレンなど構造とする。	1) 排気筒は、ドレンなどがたまりにくい構造とする。	※

頁	訂正箇所	誤	正	備考
427	上から8行目	…上記①, ②によらなくてもよい。	…上記a), b)によらなくてもよい。	●
	上から9行目	d) 上記①において…	d) 上記a)において…	●
	上から11行目	e) 上記②において…	e) 上記b)において…	●
	上から14行目	けた部分は, 上記①, ②, ④, ⑤に…	けた部分は, 上記a), b), d), e)に…	●
453	表8.3-1の「類似用途別番号」の「11」欄の「建築用途」のニ	$P \geq 100,000$ の場合	$P \leq 100,000$ の場合	●

## 管工事施工管理技術テキスト 改訂第6版 技術編Ⅱ

頁	訂正箇所	誤	正	備考
2	表1.1-1の「鑄鉄製ボイラー」の「蒸気圧力または温水温度」欄	温水 120℃以下	温水 120℃以下 <u>0.5MPa以下</u>	※
91 94		91頁～94頁までの「配管用炭素鋼管」はJISの改正により全て「配管用炭素鋼鋼管」と読み替えるものとする。		
93	下から4行目	…耐熱性硬質塩化ビニル管…	…耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管…	●
94	下から14～13行目	…呼び径は6～300Suまでである。…	…呼び径は8～300Suまでである。…	●
95	下から10行目	ポリエチレンを厚さ <u>2.5mm</u> 以上…	ポリエチレンを厚さ <u>2.6mm</u> 以上…	●
96	上から10～11行目	…また, 形状はA, B, CおよびNC形に分かれB, CおよびNC形は受口がある。	…また, 形状はA, B, C, NBおよびNC形に分かれB, C, NBおよびNC形は受口がある。	●
	上から13行目	外圧強さによって1種管と2種管に分けられ, 2種管の方が外圧強さは大きい。	外圧強さによって1種管, 2種管と3種管に分けられ, 3種管は呼び径1,500以上に規定されている。呼び径1,350以下の1種管と2種管では, 2種管の方が外圧強さは大きい。	●
97	下から17行目	排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管	排水用リサイクル硬質塩化ビニル管	
	下から5行目	…管厚はJIS K 6741のVPと同じである。	…管厚はJIS K 6741のVUと同じである。	※
	下から2行目	…(PF-VP)規格品に…	…(RF-VP)規格品に…	※
	表3.4-5の「常温における使用圧力」タイトルと数値を差替え	<u>常温における使用圧力</u> 1.0MPa 0.8MPa 0.6MPa	<u>設計圧力</u> 0～1.0MPa 0～0.8MPa 0～0.6MPa	
	表3.4-5の「管の種類」VPの欄に追加	VP	VP, HIVP	
100	表3.4-7の「名称」欄の3段目	ねずみ鑄鉄弁 (5 K フランジ形ねじ仕切弁)	ねずみ鑄鉄弁 (5 K フランジ形外ねじ仕切弁)	※
112	表3.5-3のグラスウール・保温板48Kの「熱間収縮温度」欄	400以上	350以上	※
113	下から9行目の後に追加		種類は, 発泡剤の種類によってA種およびB種に大別される。 A種: 発泡剤として炭化水素, 二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) などを用い, 別途添付	※
114	表3.5-6を差替え			※
114	下から1行目～115頁の上から1行目を削除		「保温材の機械的性質は……種類を区別していない。」を削除	※
115	上から8行目	保温筒は, 上記の材料を…	保温筒1種は, 上記の材料を…	※
	下から17行目	フェノールフォーム保温板1種は, レゾール樹脂…	フェノールフォーム保温板1種, 2種, 3種1号は,	※
	下から15～14行目を削除		「保温板2種は, …または面材付き板状の保温材である。」を削除	※
117	下から8行目	7) 配管・機器・貯槽の…	7) 配管・機器・容器の…	※
	下から7行目	静止流体の温度降下および凍結時間から求める。	配管・機器・容器の温度変化の計算から求める。	※
142	上から9～10行目	…JIS C 8370「配線用遮断器」の…	…JIS C 8201-2-1「低圧開閉装置及び制御装置」の…	●
151	表3.2-3の「主な用途」の最下段	840℃、30分異常なく通電できる性能を有しているの…	30分間で840℃に達する火災温度曲線で加熱されても耐える性能を有しているの…	●
183	下から14行目	鋼材の弾性係数は $E \approx 2.1 \times 10^5 [N/cm^2]$ , コンクリートの弾性係数は $E \approx 2.1 \times 10^4 [N/cm^2]$	鋼材の弾性係数は $E \approx 2.1 \times 10^5 [N/mm^2]$ , コンクリートの弾性係数は $E \approx 2.1 \times 10^4 [N/mm^2]$	※
197	上から11行目	…変更する場合で <u>甲乙協議して</u> 工事目的物の	…変更する場合で工事目的物の	●
256	図2.4-10中		作業日数でBの5を3に, Fの5を4に, Jの5を7に訂正する。	●
335	上から7～8行目	…配管用炭素鋼管…	…配管用炭素鋼鋼管…	
382	上から6～8行目	…はぜ折り幅は, 4.8 mmを標準とし, はぜピッチは口径100 mm以下では100 mm以下, 径100～1,000 mmでは150 mm以下とする。	…円形スパイラルダクトのはぜ折り幅は, 4.8 mm以上とし, はぜピッチは口径100 mm以下では125 mm以下, 径100を超え1,250 mm以下では150mm以下とする。	※
	図5.5-17のタイトル	図5.5-17 丸ダクトの継目構造	図5.5-17 円形ダクトの継目構造	※

管工事施工管理技術テキスト 改訂第6版 法規編

頁	訂正箇所	誤	正	備考
14	上から3行目	〈法第5条第二号〉	〈法第7条第二号〉	●
44	上から15行目	イ その主要構造物が…	イ その主要構造部が…	●
45	上から6行目	…積載荷重, 積雪, 風圧, …	…積載荷重, 積雪荷重, 風圧, …	
115	下から2行目	…工事を開始する12日前までに…	…工事を開始する21日前までに…	※
142	年少則第7条の「年齢及び性」欄	満16才以上 満16才未満	満16才以上 満18才未満	※
341	上から13行目	ア 炭酸ナトリウムを主成分とする。…	ア 炭酸水素ナトリウムを主成分とする。…	●
345	下から10～8行目	④ 散水ヘッドには、 <u>スプリンクラーヘッドの場合と同様に開放形のもの</u> と閉鎖形のものがあるが、 <u>一の散水ヘッドまでの水平距離が、開放形のもの</u> にあつては、天井または天井裏の各部分から3.7mm以下となるように、閉鎖形のものにあつては、…	④ 散水ヘッドには、 <u>開放型散水ヘッド、閉鎖型散水ヘッドおよび閉鎖型スプリンクラーヘッドがある。</u> 一の散水ヘッドまでの水平距離が、開放型散水ヘッドおよび閉鎖型散水ヘッドにあつては、天井または天井裏の各部分から3.7 m以下となるように、閉鎖型スプリンクラーヘッドにあつては、…	※
	下から5～4行目	…散水ヘッドの数は、 <u>開放形のもの</u> にあつては10以下、閉鎖形のものにあつては20以下…	…散水ヘッドの数は、 <u>開放型散水ヘッドおよび閉鎖型散水ヘッド</u> にあつては10以下、閉鎖型スプリンクラーヘッドにあつては20以下…	※
	下から2行目	⑥ 散水ヘッドから放水される…	⑥ <u>開放型散水ヘッド</u> から放水される…	※

技術編Ⅱの114ページの表3.5-6を以下の表と差し替えてください。  
 (第2刷以降では訂正されていますので差し替えの必要はありません。)

表3.5-6 保温・保冷材の種類および主な特性(JIS A 9511 抜粋)

種 類				ホルムアルデヒド 放散による区分	密度 [kg/m <sup>3</sup> ]	使用温度 [°C]	熱伝導率 [W/(m·K)] (平均温度23°C)	透湿係数 (厚さ25mm当たり) ng/(m <sup>2</sup> ·s·Pa)	
A種	ビーズ法ポリ スチレン フォーム保温 材	保温板	特号	F☆☆☆☆等級	27 以上	80 以下	0.034 以下	185 以下	
			1号		30 以上	80 以下	0.036 以下	145 以下	
			2号		25 以上	80 以下	0.037 以下	205 以下	
			3号		20 以上	80 以下	0.040 以下	250 以下	
			4号		15 以上	80 以下	0.043 以下	290 以下	
		保温筒	1号		35 以上	70 以下	0.036 以下	—	
			2号		30 以上	70 以下	0.036 以下		
			3号		25 以上	70 以下	0.037 以下		
		継手カバー				25 以上	70 以下	0.037 以下	
A種	押出法ポリ スチレン保温 材	保温板	1種 a	F☆☆☆☆等級	20 以上	80 以下	0.040 以下	205 以下	
			1種 b		80 以下	0.034 以下	145 以下 (スキンなし)		
			2種 a		25 以上			80 以下	
			2種 b		80 以下	0.028 以下	55 以下 (スキンあり)		
			3種 a		25 以上			80 以下	
			3種 b		80 以下				
		保温筒	1種		20 以上	70 以下	0.040 以下	—	
			2種		25 以上	70 以下	0.034 以下		
			3種		25 以上	70 以下	0.028 以下		
A種	硬質ウレタン フォーム保温 材	保温板	1種	F☆☆☆☆等級	35 以上	100 以下	0.029 以下	185 以下	
			2種		1号	35 以上	100 以下	0.023 以下	40 以下
					2号	25 以上	100 以下	0.024 以下	
					3号	35 以上	100 以下	0.027 以下	
					4号	25 以上	100 以下	0.028 以下	
		保温筒	1種		35 以上	100 以下	0.029 以下	185 以下	
			2種		100 以下	0.026 以下	40 以下		
					25 以上	100 以下	0.024 以下	185 以下	
					25 以上	100 以下	0.025 以下		
B種	硬質ウレタン フォーム保温 材	保温板	1種	F☆☆☆☆等級	35 以上	100 以下	0.024 以下	185 以下	
			2号		25 以上	100 以下	0.025 以下	225 以下	
					35 以上	100 以下	0.023 以下	40 以下	
					25 以上	100 以下	0.024 以下		
		保温筒	1種		35 以上	100 以下	0.024 以下	185 以下	
			2号		25 以上	100 以下	0.025 以下	225 以下	
					35 以上	100 以下	0.024 以下	40 以下	
					25 以上	100 以下	0.024 以下	185 以下	
					25 以上	100 以下	0.025 以下		
A種	ポリエチレン フォーム保温 材	保温板	1種	F☆☆☆☆等級	10 以上	70 以下	0.042 以下	30 以下	
			2号		70 以下	0.038 以下	55 以下		
					20 以上		70 以下	0.038 以下	30 以下
		3種	10 以上		70 以下	0.034 以下	150 以下		
			10 以上		70 以下	0.043 以下	20 以下		
		保温筒	1種		10 以上			70 以下	
			2種		20 以上			120 以下	

区 分	記 号	内 容	適用試験箇条
F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆	原料にホルムアルデヒドを使用していないビーズ法ポリスチレンフォーム保温材、押出法ポリスチレンフォーム保温材、硬質ウレタンフォーム保温材、ポリエチレンフォーム保温材	ホルムアルデヒド放散に関する試験を適用しない。
		放散速度が5μg/(m <sup>2</sup> ·h)以下	ホルムアルデヒド放散試験は、JIS A 1901に規定する方法による。